壱岐市地域公共交通活性化協議会

平成21年3月4日設置
平成21年3月連携計画策定

概　要

壱岐市では、人口の減少やマイカーの普及による利用者減少により公共交通の維持が困難な状況にあり、それを維持するための市の財政負担も増大をしている。
今後は、通院・通学等のニーズや観光ルートもふまえて、バスの利便性の向上及び三島航路へのアクセスの改善、観光資源と公共交通との連携等、総合的な公共交通体系の構築に向け、関係者の合意形成を図る。

○利用者のニーズに合ったダイヤ・ルートの見直し

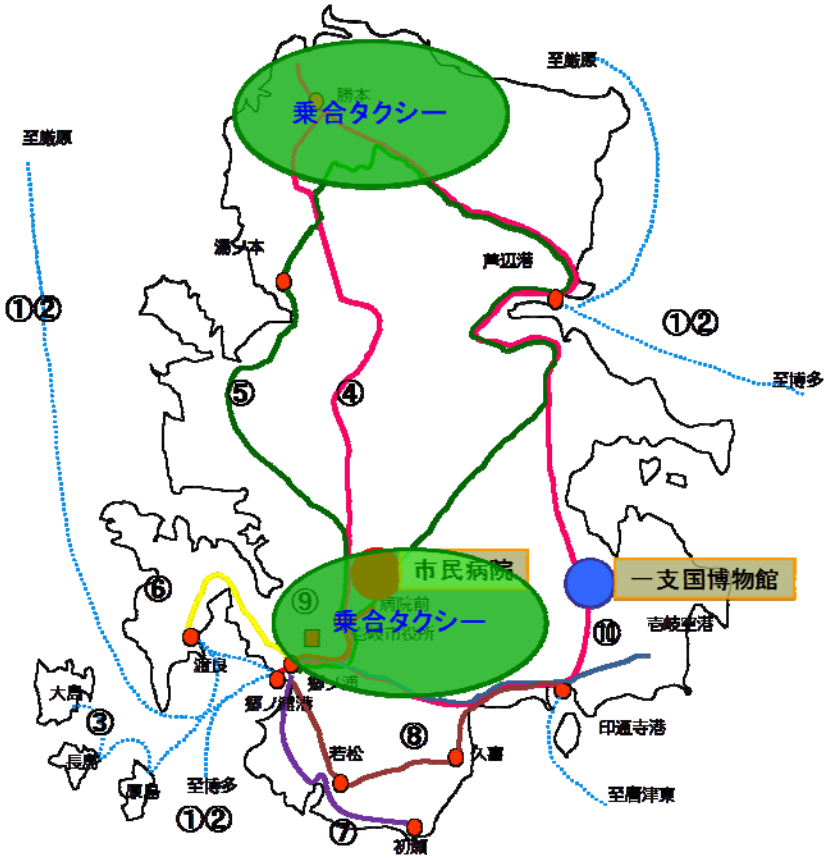
本格運行に向け、初山線、久喜・若松線で曜日運行の実証実験を行い、適正な運行方法を検証する。

○乗合タクシー・デマンドタクシーの導入

本格運行に向け、郷ノ浦・勝本地区に乗合タクシーの実証運行を行い、適正な運行方法を検証する。

○割引制度の導入

高校生の片道定期券の導入を検討するため、実証実験を行う。

○広報活動の強化

公共交通機関の利用促進のための広報啓発活動を行う。